

## 会 議 録

### 1 会議名

平成 26 年度 第 3 回横島地域協議会

### 2 開催日時

平成 27 年 2 月 27 日（金） 午前 10 時～

### 3 開催場所

玉名市横島町公民館 第 1 会議室

### 4 出席者

委 員：大野稔委員、中道健一委員、鎌田英伸委員、高田優子委員、大崎競子委員  
坂本信子委員、沼垣堅基委員、大柿貴宏委員、池田千津子委員、渡辺邦子  
委員、伊藤しげこ委員、青山正男委員

事務局：村上市民係長兼福祉係長、棚木主査、辛島主事

島崎企画経営課長、松田企画経営課課長補佐、福島企画経営課課長補佐

#### 欠席者

委 員：田中順子委員、島村享吾委員、田本福廣委員

### 5 会議の内容

(1) 開会

(2) 挨拶（会長）

(3) 議題

① 新市建設計画の変更について（諮問）

② その他

(4) 閉会

### 6 議事の概略・協議結果

(1) 新市建設計画の変更について

企画経営課から変更点について説明。

(2) その他

### 7 会議資料

(1) 会議次第

### 8 傍聴人の数

0 人

### 9 非公開の理由

—

### 10 会議録の種類

要点記録

## 11 発言の内容

(事務局)

それでは、ただいまから第3回横島地域協議会を開催します。本日12名の出席をいただいておりますので、玉名市地域自治区の設置等に関する条例第12条第2項の規定に基づきまして、委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので本日の会議が成立していることを申し上げます。

つづきまして中道会長よりご挨拶をお願いします。

(会長)

挨拶記載省略

(事務局)

ありがとうございました。議題に入らせていただきますが、玉名市地域自治区の設置等に関する条例第12条第3項に基づきまして会議の議長は会長が務めるとなっておりますのでよろしくお願いいたします。

(会長)

それでは議題に入ります前に会議録の署名委員ということで、二名を私の方から指名することとなっておりますので、沼垣委員さんと大柿委員さんをお願いしたいと思います。それでは議題に入らせていただきます。議題1新市建設計画の変更についてということで説明をお願いしたいと思います。

(企画経営課)

議題1説明省略

(会長)

ただいま担当課から説明がありましたが、何か質問等がありましたらお願いします。

(委員)

最後に延長になった趣旨の説明していただいたからわかったんですが、最初これを見たときに、どうして16年間と延びる形で変更になるのかなと思ったんですね。通常であれば、10年間で合併そのものも定着するから次のステップとして、こういう計画で取り組みましょうと、そういった内容にならなければならないのではと思ひまして、今説明を聞いて理解できました。

私は今、文化財保護審議会委員をしておりまして、この前文化課の方とも話をしていたのですが、堤防が国の指定になってまして、九州全域からボランティアで整備活動に協力してもらってます。今度も200人程の団体が来て、整備活動をされる予定ですが、文化財の現状維持の課題も出てるから、下手に触ったらそれも問題ということで、いろ

いる整備をするうえにおいては、基本的な整備計画や長期の計画に基づいた形でやっていかなければいけない。それでこれには文化財の保護、活用という言葉で一括して書いてありますけど、国の方向付けとしては整備をしてできるだけ外部の人を取り入れて地域振興につなげようというそういう方向性はあるわけですね。それを先進的にやっているのは太宰府で、国立博物館なんかもできて大がかりにやっていますけれど、せっかくこういう財産があるからこれを観光とか地域振興に結びつけるようなそういうものも少し盛り込むような形はとれないかなと思ったんですが。

(企画経営課長)

文化課の方で玉名市文化振興基本計画というのを今作成しております。先程担当から説明がありましたが、市の総合計画の文化に関する計画書が今素案から案の段階になりましたが、その中に横島の干拓は名前がでて、重要であると位置付けがされておりました。そういう意味ではまず市全体の基本構想、基本計画の大きな方向性を示しております。横島干拓の歴史については、今後具体的な整備計画を立てることになりますので新市建設計画に関しましては、文化部門は少ししか入っていませんが、具体的なことは文化振興基本計画に基づいて実際の計画を作成する予定になっております。

(企画経営課)

横島干拓堤防の文化財を活用して観光振興等にも結びつけたらということですが、この文案を考えるに当たっては、すべての課に問い合わせをしてそれぞれの所管する分野について検討を加えてもらいたいということで打合せをしています。文化部門については先程の比較表にも示してありますように、ほぼ全部見直しをして作り替えをしているところです。文化財の部分を観光にも生かしたらどうかということですが、新市建設計画の32ページのほうになります(5)観光の振興⑤観光ツーリズムの開発というところで観光関係の新市の方針の大綱が書いてあります。この四行目以降に食と文化の開発、環境教育、芸術・文化のふれあい、スポーツ・合宿など、農山村、漁村の資源を活用し、地域の人材育成を進めて多種多様なメニューの開発を推進しますというような事柄が触れてありますが、この辺のところで文化財を活用した観光の振興の部分については記述してあります。文化財の部分では、文化財を観光振興に生かすという方向性は観光部分で触れてあるのでこちらには記述しておりません。

(委員)

はい、わかりました。

(委員)

新市建設計画の資料も膨大で説明を省略してあると思うんですが、有明沿岸道路が長洲町まで決まってるみたいですが、それから先の玉名市の計画は新市建設計画に入れてあるのか、もしくはその後の計画になるのかお聞かせ願いたい。

(企画経営課)

有明沿岸道路につきましては、今現在期成会ができておりまして、玉名市も期成会に

入っていますが、荒尾市が中心となって大牟田市まで完成しましたので、いよいよ熊本県にも入ってくるという形で進んでいるところです。交通のネットワークの整備ということで新市建設計画の分野でいえば、17ページ1) 便利で快適な社会基盤の整ったまち(1) 道路交通体系の整備①幹線道路のネットワーク化の部分に入るところです。②も同じようにアクセス道路の整備というふうに書いてありますが②の方は、域内幹線道路つまり新しい玉名市域内の幹線道路のことについて、さらに大きな道路のネットワークの分野は①のところで触れるというふうに振り分けをしています。有明沿岸道路の建設推進については、今後32年までの間には間違いなく玉名市でもより活性化した動きになってくるということは想定できますので、今回書き直す時点では有明沿岸道路の建設推進等については、はっきりと謳いこんだほうがいだろうと昨日行いました別の協議会の中でも意見がありました。同じように横島地域協議会からも意見が出たと今後その中に有明沿岸道路の建設推進を入れ込んで、1行目の後段の方に新市の道路網を整備するとありますが、その前のあたりに有明沿岸道路建設推進をはじめとする新市の道路網を整備するというような形で変更したいと現時点では考えております。

(委員)

わかりました。

(委員)

人口とか推移表をみると減る一方の予測になっていますが、せっかく一市三町合併したので、増える方向の明るい計画はここには載せれないのでしょうか。

(企画経営課)

市の全体的な計画を推進する基本となる計画としては総合計画というのがあります。その中で将来人口の見通しという形で5年後、10年後玉名市はどれくらいの人口になりたいという計画を立てます。新市建設計画を総合計画とリンクする形になりますので、もともとの人口の予測については7万5千人ぐらいに合併後増やしたいという気持ちも込めまして、将来人口の設定をしていました。同様に玉名市が合併したときに玉名市総合計画というのを平成19年に作成しておりますが、そのときの将来目標も当然リンクする形になるので7万5千人です。その際に統計的な手法に基づきまして数値をはじいたところ実は7万人ぐらいにしかないだろうというような数値的なものがありました。しかしながら合併をして、より人口が増えるような施策を充実させていくといった気持ちも込めまして7万5千人を将来目標人口に設定をして施策の方を進めてきましたが、現実的には合併後すぐに7万人を割りまして人口は下がり続けております。そのような実情を鑑みた場合、市の将来目標人口を設定するのは、やはり実態に則した形をより明確に示すべきではなかろうかと判断をして、現況の新市建設計画では、今の人口よりも下がる推測をしております。実際6万5千人よりも見込みとしては数字で示しておりますようにさらに千人程下がる予測ですけど、裏付けのない人口増を目指すよりも実際の推計した人口を少なくとも維持させるんだというような腹積もり、つまり将

来的には6万4千人くらいにしなければならないけれどもその間にいろいろ施策を充実させてせめて6万4千人はキープしたい。できれば千人程上乗せした人口を目標としたい。つまり6万5千人であってもプラス千人分は人口を増やすというような意気込みを込めています。結果的に10年前につくった7万5千人の将来目標が6万5千人と1万人も乖離した形になりますけれども考え方としましては、今説明しましたような新しい6万5千人の設定の方が実情に合っているのではなかろうかとまた繰り返しになりますけれどもこの6万5千人という人口設定につきましても少なくとも千人は施策の推進によって通常の予測よりも上げるというような意気込みを込めてということでご理解をいただきたいと思います。

(企画経営課長)

玉名市は、定住促進補助金というのを行っています。玉名市外から玉名市内に家を建てたりした場合には、100万円の補助をします。ただし5年間で1年に20万円ずつとかですね。そういった補助金等がありまして、多いときで130～140人、それも20代、30代、40代が一番多いんですけども、毎年100人を超える人が実は玉名市外から入ってこられてます。ただ逆に高校を出て就職したり、大学へ進学したり生まれる人数や亡くなる人数などの社会的な減少により、それ以上に減ってるというのが現状です。なかなかそういうのをわかっていただけないですけど、百数十人がきているにもかかわらずそれだけ減っていますので、今後は地方創生も今叫ばれていますので補助金をどうするのか、今年までが補助金の期限でして、来年はやめるということではなくてこれをもう少し現行のままいくのか、もう少し人口を増やすためにはもうちょっと有利にしなければいけないかを考えているところです。

(委員)

私も元々横島出身で県外から転入してきましたけれども、横島の中に空き家はないかなんか探しました。だからそういうことをどこかでまとめてくれるところがあればと。

(企画経営課)

企画経営課の地域振興係に空き家バンク登録制度というのがあります。この家は空き家なので誰か使われるなら使って欲しいという方が市の方に登録すれば空き家が欲しいという方の連絡がきたときにそれを突き合わせるというものです。

(委員)

さっき東日本大震災をきっかけにこの計画見直しがあつてということで項目を見ると何か防災に関するものがあつてもいいのでは。

(企画経営課)

防災に関するところについては、所管課の方とも連絡をして書き直しが結果的になかったということですが、防災無線の整備等を平成17年に合併して直ちにするというような形で大きな事業として考えていたんですけども、防災無線の統合については未だ進んでいないというような状況です。今後も合併して10年間に進んでいないのでさら

に新たに書き加える部分はないだろうというような判断であったのかと思います。

(委員)

横島の場合は、太平洋に面した部分はないから直接的に津波とかそういうのはあんまり考えなくていいのかなと思うんですが。当面一番横島で可能性がある災害というのは何でしょうか。

(企画経営課)

台風災害では、それと地震もどこであるかわかりませんので。玉名市の山の方小岱山のすそとか天水の山よりも平地が多い部分は少ない津波とかでも影響があると思いますので地震による津波の発生というのはめったにないとは思いますが実際あればそれなりのリスクは山間部よりも多いかなと。なによりも台風辺りの被害なんかは大きな災害として想定できるのではないかと思います。

(委員)

26ページの小中一貫教育の中なんですけどその真ん中の学校再編による教育環境の整備なんですけどこれは小学校を意味してるんですか。

(企画経営課)

そのとおりです。一番端的に申し上げますと今現在進んでいる玉陵中学校区に6つの小学校がありまして一つの小学校を玉陵中学校の近くに建てて併設型の一貫教育を進めたい。これは玉名市にあるすべての小中学校を進めたいけど先行的なモデル的部分として一番効果が高い、つまり一つの中学校に6個の小学校が建ってるのは玉陵だけです。そこで先行したい。それが学校再編でご指摘のとおりです。

(委員)

横島については。

(企画経営課)

横島は今現在、有明中学校で統合されておまして、ちょっと全体の中学統合に関する基本指針が頭に入ってなくていえませんが、統廃合には学校建設も入れて数年単位でかかっていくものですから、32年までの今回延ばす建設計画の中には、横島小学校の統廃合は含まれないものと思われま。

(会長)

なかなか端折った説明で急ぎながらだったから、理解が難しくイメージが頭に描けない。説明を深くされると理解できるんですが。

(企画経営課)

新市建設計画は市が担うすべての分野に触手をのばしておりますので、企画課の職員はある程度は掘り下げて説明できますけれども、これを一番上から一つ一つ質問があったくらいのボリュームで説明をすると半日とか一日とかかかってしまいますので端折った説明になって申し訳ありません。

(委員)

本日欠席の田中委員さんから今日これないからと資料を預かりまして、その中に付箋をつけてあるので後で見えておいていただきたいと思います。中でも障害の「害」の字がマイナスイメージでとらえられるから「ひらがな」にしてほしいということです。

(企画経営課)

基本的には「ひらがな」に変えておりますが、預かって帰ります。変えられる部分は変えます。

(会長)

他にはどなたかご意見等ありますか。

ないようでしたら、答申という形で今の説明や意見を踏まえて、皆様方にご判断をいただきたいと思います。

(企画経営課長)

会長の方からありましたように今回は諮問ということですので答えをいただきます。議論の中でいろいろご質問にもお答えしましたが、今日提案した部分の文言訂正の中で一番大きく皆さんがうなづかれていたのは、有明沿岸道路は書くべきじゃないだろうかのご意見でした。昨日も違うところでこの意見がでて最終的にはその答申としては、その他の部分についてはこれでいいと、ただし沿岸道路については大事だからその文言を付け加えてくれという意見を付して答申とするとような結論をいただきました。もし皆さんがご同意をいただいたうえでの付記事項としては、沿岸道路の部分的文章としてきちんと答申をいただくということで、あとの部分については大枠としてはそのとおりでいいというような答申をいただければ今日の議論の結果は生かしていけると思います。それと田中委員の資料は、目を通しましたら多くが障害の「害」の字の問題でとか点が汚れに見えるとかで、大きく流れが変わるようなのはいま見た限りではありませんので十分活用させていただきたいと思います。答申としては沿岸道路については書いていただければ私たちとしても加える方向で後押しになりますのでよろしく願います。

(会長)

それでは今のような形で答申としてよろしいか皆様方に確認いたします。いかがですか。

(委員)

はい。

(会長)

ありがとうございます。これで答申させていただきます。つづきまして、その他でなにかありますか。

(委員)

港いこいパーク沿いの道が今日通ってきてかなりひどい状態で、道路がさがってたり、割れていたりちょっとひどいかなと思って市役所のほうからでも一度見てもらいたい。

(事務局)

支所の方で所管課と連絡を取ります。

(会長)

他にありませんでしょうか。なかったらこれで終わりたいと思います。閉会を副会長にお願いします。

(副会長)

長時間にわたり皆様の有意義なご審議ありがとうございました。これをもちまして第3回横島地域協議会を閉会いたします。

12 会議録作成者

玉名市横島支所 市民生活課 棚木

13 会議録署名人署名欄

--	--

14 問い合わせ先

玉名市横島支所市民生活課 TEL : 0968-84-3111